

歴史文化・民俗風習のつづき
三九「三上神楽」
神職のみによつて舞われる神楽。庄原市内の神社の例祭日に舞われます。県無形民俗文化財。

四〇「山内衝上断層」(山内町)
国の天然記念物に指定されている。断層面に添って上盤がずりあがったものを逆断層というが、中でも急なものを衝上断層といいます。

四一「昔話」
庄原にはまんが日本むかし話にも出てきた円通寺の龍の話のほか、火村さん・永明寺のネコなど、興味深いお話がたくさんあります。

四二「厄流し」
毎年七月三十一日に西城川の車橋付近で行われる厄流しの行事。江戸時代から二五〇年続く珍しい行事です。

四三「庄原弁」
たえがたいことですよ！(ありがたいことです。おしまいです！(こんばんは)方言はその地方の文化だし、味がある！

四四「早駆け馬」
四月の第三日曜日に開催される祭。尼子軍との合戦勝利を知らせに帰った「早駆け」にちなむそうです。

四五「民謡あつもりさん」
源平合戦の一の谷の合戦に、平家の無官の太夫敦盛は十六歳で亡くなりました。敦盛には十五歳の玉織姫という妻がありました。玉織姫は逃げ逃れて、平家ゆかりの地永江の庄(庄原の地)に隠れ住んだというのが、この唄の骨子。玉織姫が庄原に逃れたのは疑問ですが、敦盛の悲劇を唄った哀愁を帯びた門付け唄が庄原地方に残っていました。それを現代風にアレンジしたものがあつもりさんです。市無形文化財

四六「倉田百三」
庄原の著名人といえはこ

の人。知らない人も多いでしょうが、郷土の作家の作品を読んではいかがでしょうか？

四七「伊達金三郎」
伊達金三郎は高に生まれ、石見銀山の代官井戸平左衛門の手代として享保の飢饉のときに薩摩から薩摩芋を持ち帰り石見の国の飢民救済につくしたそうです。

四八「森のバイオマス研究会」
森のバイオマス研究会は行政や業界主導ではなく、市民の環境意識から発足した会で、今年の「ひろしま環境賞」受賞団体で全国的にも有名な団体となっています。

四九「川北矢の原の大柿」
川北町の田園の中にある柿の古木。四季を通じて撮影スポットになっている。土地の人たちが溝さらえ、水路の草刈りの後、木の下で水神祭を行う。荒神さんの祠も祭られており、樹齢三五〇年といわれている。

五〇「蘇羅比古神社の大杉」(本村町)
蘇羅比古神社は郷社にして彦火火出見命を祀る神社。参道の二本の大杉は周囲五m以上あり、見事です。

五一「横目堂のイチイ」(川西町)
イチイの木は中国山地に自生し、県北では庭園木として植栽する習慣がある。横目堂のイチイは県下でも最大級の大きさを誇る。県天然記念物。

五二「シラカシの大コブ」(川北町)
川北町の八幡神社の裏山にあるシラカシの大コブ。なかなかの迫力と大いにヨロコブで縁起がいいとか。・・・

五三「信用金庫前大ケヤキ」(西本町)
信用金庫向いにある大ケヤキは庄原のまちのシンボルといっても過言ではないのでは。・・・

五四「上野公園の桜」
日本さくらの会選定のさくら名所百選の地。上野池に映る夜桜は西日本一と言われている。病害虫等で花が少なくなっていたが、再生された桜がどんどん育ってきれいに花が咲く姿が楽しめます。

五五「藤木の桜」(西本町)
市民会館の横にあるエドヒガン樹齢二五〇年以上で市天然記念物。ライトアップされた夜桜はともぎれい

五六「足羽家のしだれ桜」(本村町)
本村川左岸の丘の上にある樹齢約八〇年のしだれ桜

五七「粟ヶ段の桜」(水越町)
水越町粟ヶ段地区にある桜。静かな集落の中に立つ姿は見事。

五八「横川の山桜」(川北町)
川北町の比和町境比和川右岸にある山桜。山の緑に映えて美しい。

五九「実留本村川河岸の桜並木」(実留町)
本村川左岸に植えられていた桜並木は満開の時にはとても美しい。

六〇「龍福寺の桜」(小用町)
小用町龍福寺にある桜。夕日に映えてとても美しい桜です。墓地への立ち入りや木の根元に入らないよう注意。

六一「奥田家の山桜(板橋町)」
県道六一号線と県大通りの交差点からみることができ山桜。知る人ぞ知るところ。毎年近所の人たちが花見をするポイント。花見のたびにこの桜をいつかクローズアップさせようという話になるそうです。

六二「総合体育館付近芸備線沿いの桜並木」(西本町)
総合体育館から芸備線沿

いに四三二号線への歩道沿いに植えられた桜並木。散歩しながら見るとなかなかのもの。・・・

個人のお宅の桜は私有地の立ち入り・違法駐車・ごみのポイ捨てなどマナーを守りましょう！

六三「JA庄原特産 広島菜漬」
塩分控えめ、添加物のない広島菜漬。安心、安全。あつたかいご飯にこれがあれば、何も言うことはありません。

六四「山菜」
庄原では山菜がいろいろ取れます。食彩館しようばらゆめさくらの朝取り市でも販売しています。一覧表と調理法があればいいですね。

六五「ニナ(川二ニ)」
ホタルの幼虫のえさとなる川二ニは庄原では西城川や比和川等で採れます。夏の夜、川二ニを食べながらビールを飲むのは格別です。

六六「一木一寸そば」
地元一木で作ったそばを地元の人が加工し、提供するそばは美味しい上に、安心安全です。

六七「備後名物 乳団子」
一〇〇年以上の歴史を重ね、今では庄原産のお土産といえはコレという存在です。土産にこれを持っていくと必ず喜ばれます。

六八「ワニ料理」
昔は交通事情が悪く、海から遠い庄原では魚の刺身が食べられなかったそうです。サメは腐りにくいので、庄原でも刺身で食べられるということで、盆や祭には食べていたそうです。今でも市内のスーパで切り身を販売していたり、回転寿司屋さんにメニューとしてあるほどです。

六九「ナバ」
庄原ではきのこのことを「ナバ」といいます。きのこの狩りのことは「ナバこぎ」といいます。まつたけ・こうたけ・しめじ・くるっこうたけ等美味しいナバがいっぱいあります。

七〇「川魚(鮎)」
海から遠い庄原では大切なたんばく源。川魚は独特のにおいがあるが、鮎はじつは人もいますが、鮎をほじめ、干しギギウウ・寒バエの甘露煮・鯉こく・鯉のあらいなど川魚も美味しいのです。特に庄原の比和川・西城川の鮎はブランドでした！

七一「比婆牛」
ブランド名として比婆牛というのはいらないらしいが、・・・優良な血統としてあずま蔓といわれ、今でも庄原の牛肉と言えは比婆牛が有名です。

七二「朝どり市(青空市場)」
食彩館しようばらゆめさくらにある農産物直売所。農家が自信を持って販売する野菜は安全でうまい！その他青空市場は市内の山内・一木・峰田・濁川等にある。地元の新鮮野菜が手に入る。季節によってはこちらにしかない珍しい食材も。・・・

七三「庄原観光りんご園」
庄原唯一の観光りんご園。ふじ等七種類のりんごがある。九月上旬～十一月まで

七四「地酒」
水が良く、米処である庄原は美味しい地酒があります。市内には二社の酒造メーカーがあります。その他にも桑の実ワイン・一木一寸そば焼酎などもあります。

七五「上野公園の夏祭り花火大会」
毎年八月の第四日曜日に開催される花火大会。上野池の湖面に映る花火はとても美しい。メッセージを読んでもらえ、自分の花火が打ち上げてもらえる「みんなの花火」もあります。

七六「国営公園の夏のコンサート」
いつもは静かな庄原ですが、この時は有名なアーティストが訪れ二万人を超える人が集り、にぎやかになる。ミスチルの桜井氏が今までのライブで庄原が最高だったと言っているほど、雰囲気の良い野外ライブ会場なので。・・・

七七「国営備北丘陵公園のイルミネーション」
十二月に国営備北丘陵公園で開催されるイルミネーション。年々規模が拡大されている。星の美しい地域なので、イルミネーションと星空と両方楽しめます。

七八「国営備北丘陵公園の花火」
普通花火大会は夏ですがこの花火大会は秋のコスモスの開花にあわせ開催されます。(十月初旬)ライトアップされたコスモスをパツクに打ち上げられる花火はとても幻想的です。

七九「九日市」
毎月九日に庄原市街地で開催される市。昔庄原のまちでは九日に市が立っていたことにちなみ、開催されはじまりました。現在では食・手仕事・レトロ市など多くのものが集まり、十時・売り切れ御免で開催中！

八〇「庄原よいと二祭」
毎年八月の第四日曜日とその前日に開催される祭。パレードを中心に普段の顔でない庄原の顔を味わえます。

八一「市街地イルミネーション」
国営備北丘陵公園イルミネーションの開催に合わせ市街地でも上野公園ライトアップ作戦・市役所前イルミネーション等で飾られます。

八二「庄原スター式駅伝」
昭和二十九年の合併前に旧七町村を星型に結び健脚を競ったのがはじまり。五〇回を超える歴史ある庄原のスポーツイベント。

八三「子どもミュージカル」
子どもたちが主役のミュージカル。子どもたちの演技に感動！

八四「生活や」(宮内町)
庄原にはない雰囲気のおし

やれな雑貨店。ついつい買ってしまいます。

八五「実留酒類醤油所造醸造」(実留町)
麹から製造している味噌醤油は抜群の味。

八六「貴重な動植物」
庄原は生態系がこわれな

いで残っているので、オオサンショウウオやモリアオガエルなど貴重な生物があり、自然の営みが残っています。

八七「自然」(里山・空気が緑・星がきれい・四季の移ろい)
良くも悪くも自然がいっぱい。良いほうが多いし、癒してくれるのは自然。庄原には里山があり、険しい山と違い人の暮らしに利用され、人に恵みを与えてくれる。人も車も少ないので空気がきれいで、緑もくっきり、星もたくさん見えるし、四季の感覚が都会ではなくなりつつあるが、庄原は三月月ごとに季節がはつきり変わる地域です。

八八「西城川」
西城町を源流に江の川へ流れ、日本海へ注ぎます。西城川はとつとつと流れ、文豪倉田百三も幼少期より宗教的恋人として愛してやまなかつたといわれています。

八九「勝光山の鉱床」(川北町)
露天掘りで掘り出されるロウセキは大正・昭和と庄原の町を支えていました。

九〇「ジョイフル」(西本町)
庄原初のジョッピングセンター。昨年一〇月にリニューアルオープンしました。

九一「楽笑座」(西本町)
三月に完成した楽笑座はまちなかに楽しみの場をつくるとうとうと酒蔵を改装し、つくられました。音楽や映像、食等を楽しむことができます。

九二「アーティストの手形」
国営備北丘陵公園を訪れたアーティストの手形。ドリカム・ミスチル・セツストツクで訪れたアーティストの手形もあり、今後地域活性化に利用される予定です。

九三「上野公園無料休憩所 紫水寮」
上野池湖畔にある倉田百三ゆかりの地にある無料休憩所。百三を偲び、お茶をいただくのも良。

九四「市民ギャラリーアート多愛夢」
商店主の方が私財を投じて改装され、できた市民ギャラリーです。

九五「絵本牧場 こんぼ」
緑あふれる牧場で動物たちといつものまにか心が元気になります。

九六「ひまわりバス」
市内循環バス。百円で市内を循環できます。

九七「のんき工房」(川北町)
自然の素材を使った作品は素晴らしい。のんきさんの手にかかれば全てが芸術品に変わる。

九八「原さんの土鈴 土笛」
土地に根付いた、ほのぼのとした作風は庄原の誇りです。

九九「県立広島大学」
平成元年開学の県立大学。産学官や地域のシンクタンクとしての存在大。また、県立広島大学の庄原キャンパスから見る夕日は美しい！

一〇〇「庄原に対する皆さんの思い」
応募総数二二〇件。一六七の素材が集まり、百選の選定作業を行いました。作業を進めるなかで、皆さんの庄原に対する熱い思いを感じました。応募いただいたものを全て採用したかったのですが涙を飲んで百個にしほりまされた。それぞれ皆さんが持つておられる、庄原への思いが一〇〇個目の庄原百選です！